

その3

申2号 就業規則等の改正に関する団体交渉を行う!

七、ビジネスサポートグループの新設の理由及び要員体制と業務内容を明らかにすること。

会社 社員数の増加に比例して諸手続きの業務量が増加、煩雑化していることから、各種事務業務を統合し、より効率的に業務を推進するために必要な社員を配置して運営する。

組合 **現在のビジネスサポートグループの要員体制についてどうなっているのか。**

会社 二月十五日新設で管理職一名と総務担当と人事担当で各一名の計三名にて業務を開始している。今まで様々な事務取り扱いで多様な問合せ窓口があり、業務運営上で不都合があった。今後については、新年度以降に要員体制などを変更する場合もある。

八、通勤定期券（鉄道）のIC化を行う理由を明らかにすること。

会社 駅業務を専門とする会社で働く社員一人ひとりがSuica施策に関わり、関連するサービス内容を習得する必要性を鑑みて自ら所有する通勤定期券をIC化することとした。

組合 **磁気定期券かSuica定期券を使用するかを選択するのは本人次第だと思ふ。社員証に定期券情報を入れて使用すると壊れた場合に不便である。**

会社 当社が受託しているエリア内はほぼICカード利用可能エリアであり、社員が実際に利用することによってお客さまからの問合せなどがあつた場合に関連するサービス内容を習得する必要性を鑑みて決定した。また現行の社員証については、有効期限が来た際に社員証と業務IDカードを別にして使用することになる。

九、自衛消防技能認定資格を取得する目的を明らかにすること。また、合格者に対する補助の支給理由及び現時点で取得済み社員の対応を明らかにすること。

会社 東京都条例により定められ業務上必要なことから取得するものであり、資格取得に尽力した労をねぎらうために合格一時金を支給することとした。なお、対象の駅を受託後新たに取得した当社社員に対しても受験費用及び合格一時金を支給する。

組合 **自衛消防技能認定者が一日の勤務時に必ず一名が必要なのか。また、今認定資格者が必要な箇所はどこか。**

会社 一日の勤務で必ず一名が同資格取得者でなければならぬ。現時点で資格取得箇所名は、地下駅の馬喰町駅・八丁堀駅・越中島駅と秋葉原駅である。今後の新規受託などで追加がある。

十、福利厚生サービスを変更する根拠および詳細を明らかにすること。

会社 公私に渡って様々な見聞を広げ、心身健康で充実したワークライフを送ることを目的として、より魅力のある福利厚生サービスを導入することとした。

新たなサービスには生活・レジャーに関連する様々な割引のほか、宿泊時の補助も備えている。

名称「JTBえらべる倶楽部」

十一、福利厚生サービスの変更によって、グループ会社の施設利用における会員特典などの効力が失われるのか明らかにすること。

会社 JR東日本カフェテリア倶楽部の契約終了に伴い、JR東日本グループが提供する施設利用等の特典は廃止となる。

組合 **廃止に伴う施設利用券などの解約金などについて**

会社 会員特典の解約金等については、各自にて対応する。

